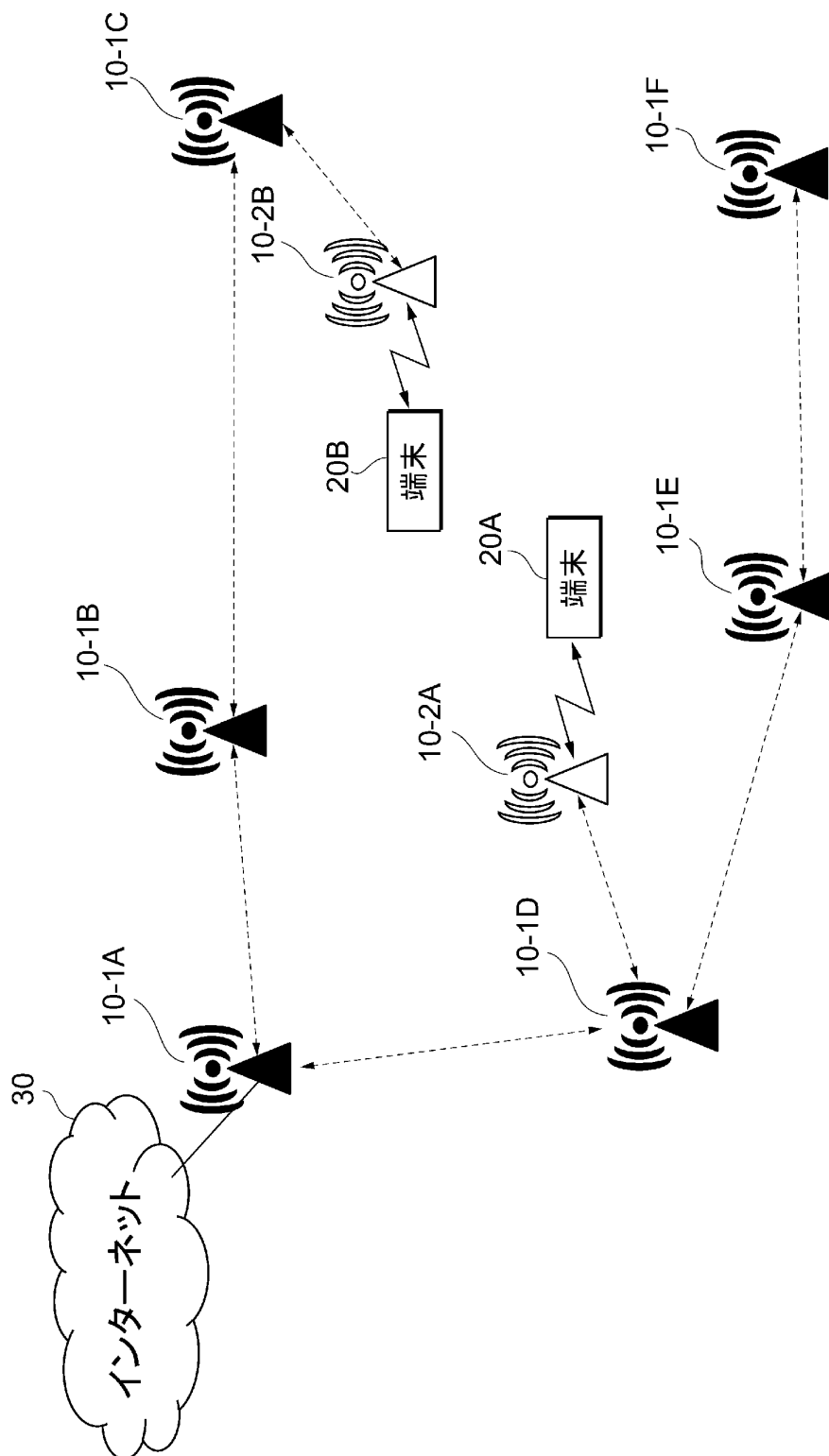
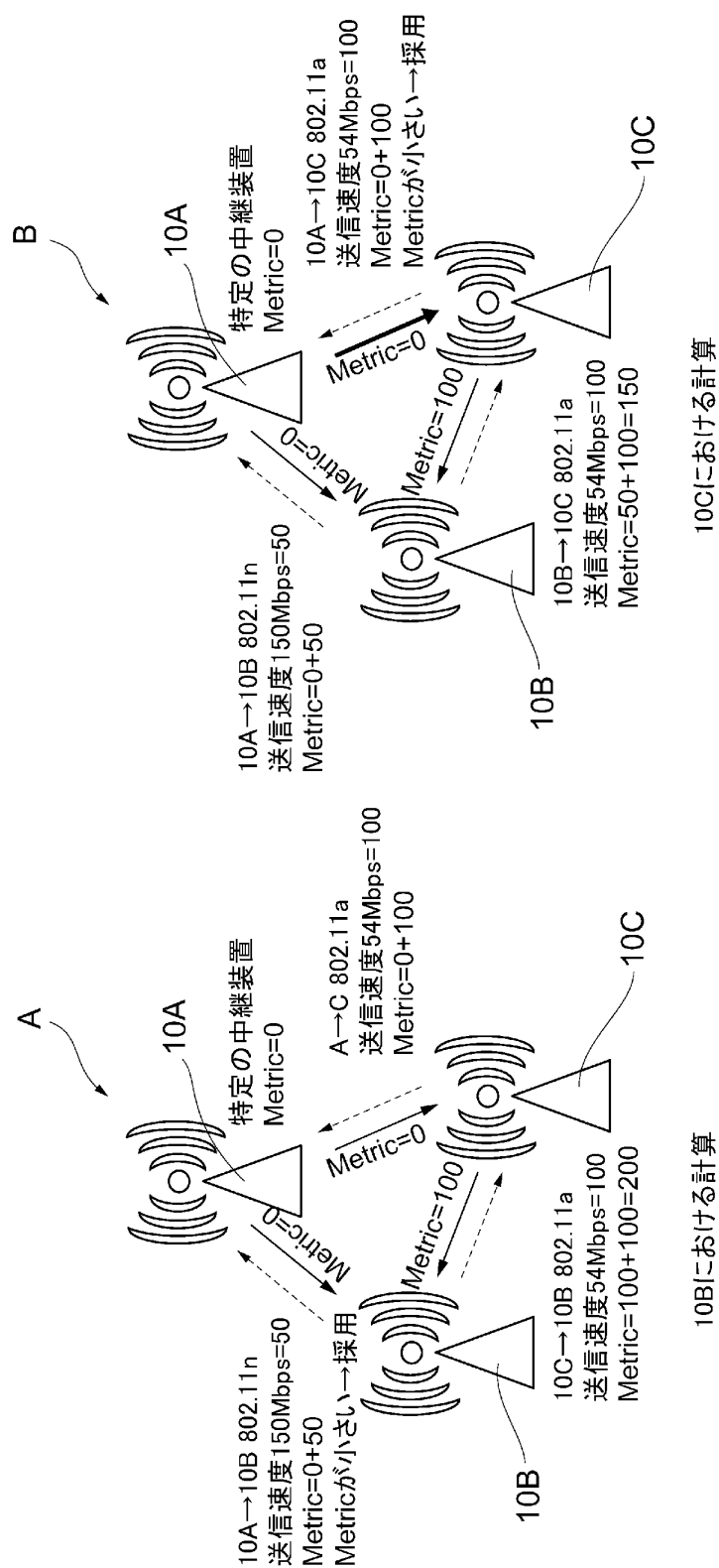


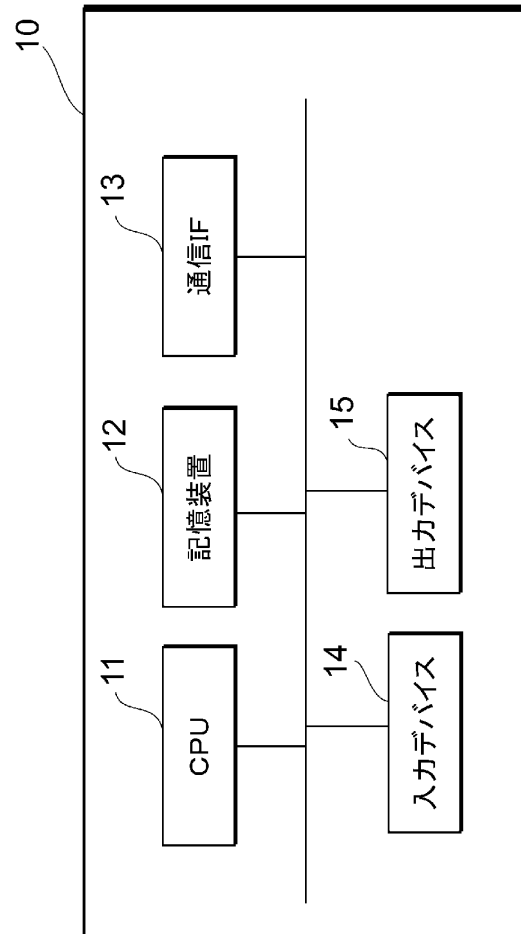
[図1]



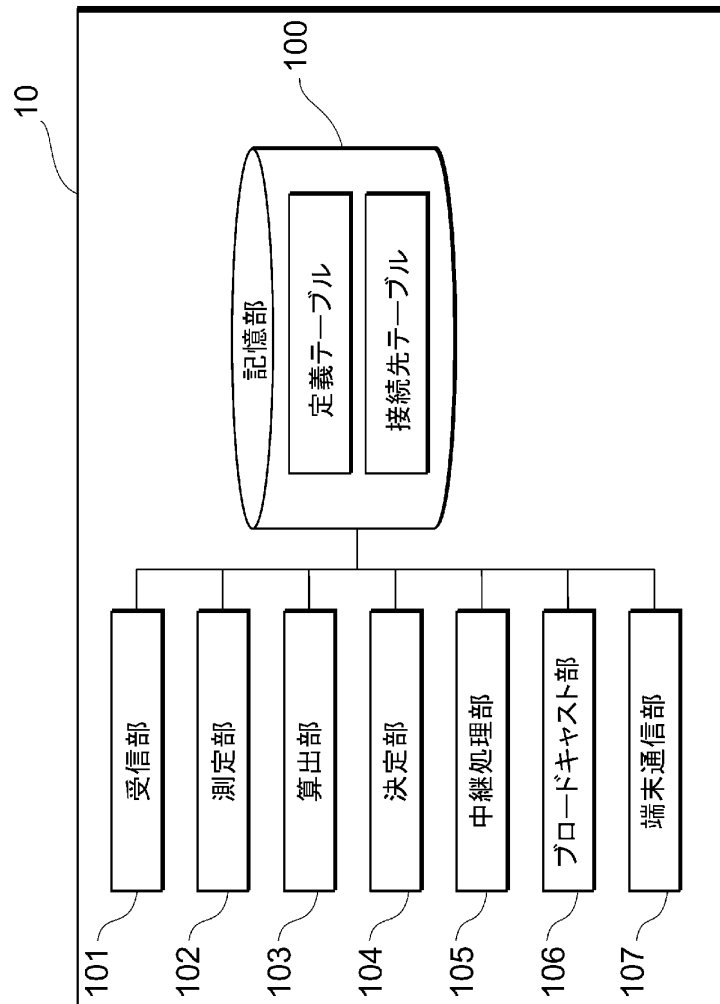
[図2]



[図3]



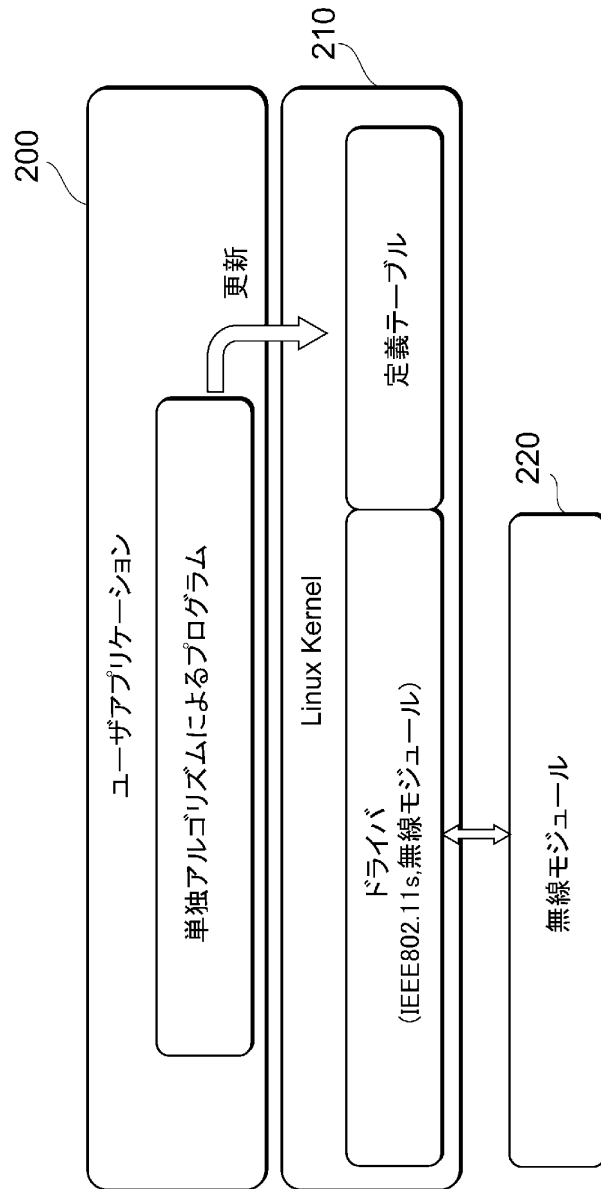
[図4]



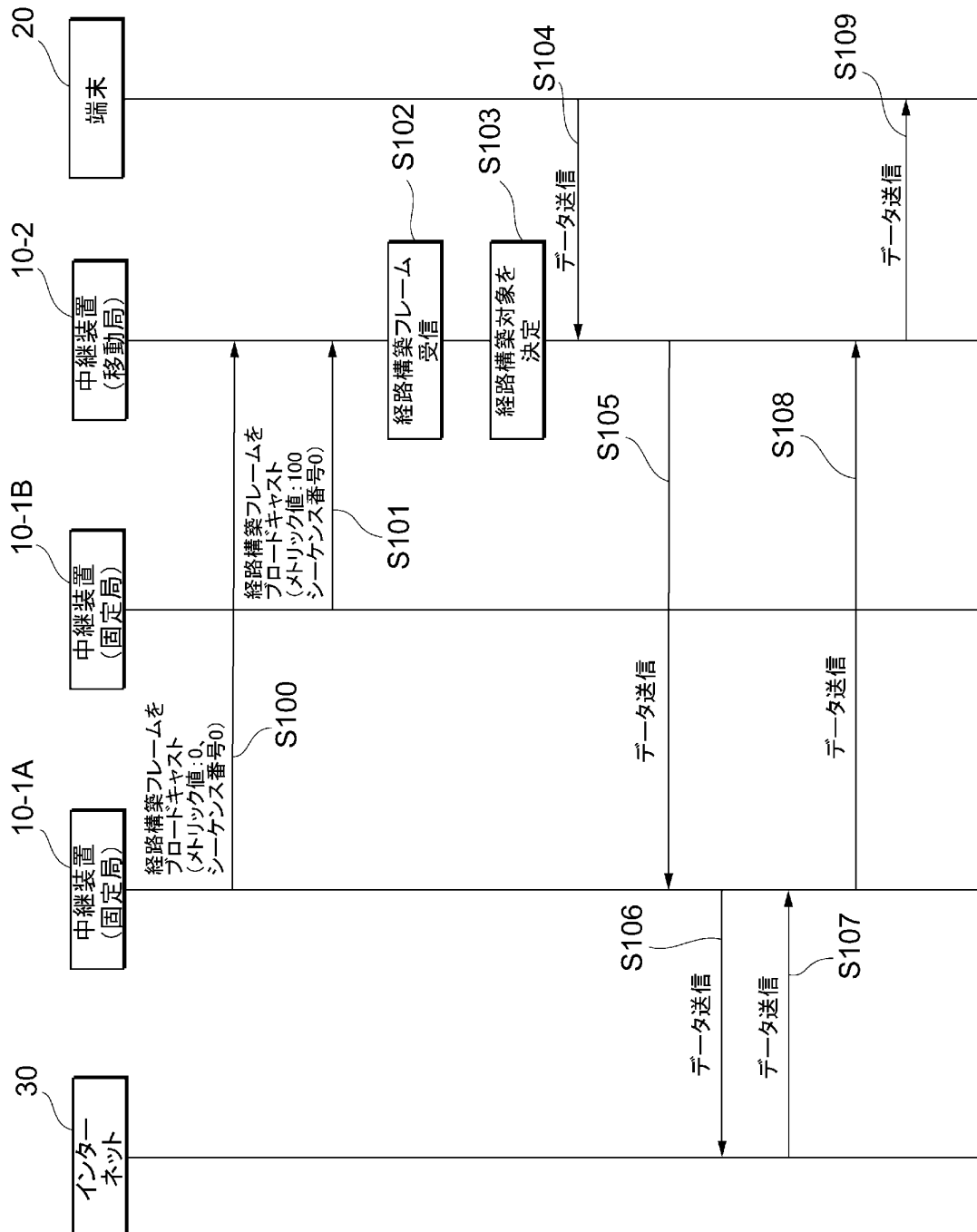
[図5]

受信電力	Metric (ケース1)	Metric (ケース2)	コメント
0dBm	0	0	電波強度が十分に強いため多段中継の必要はない(直接接続が効率的な伝送となる)
-1dBm	1	1	
-2dBm	1	1	
-3dBm	2	2	
-4dBm	2	2	
..	..	..	電波強度が十分に強い場合、この値を操作することで多段中継の経路が大きく変わる
-20dBm	5	5	
-21dBm	5	5	
-22dBm	5	5	
-23dBm	5	5	
-24dBm	5	5	電波強度が良いため、この値を操作することで多段中継の経路が大きく変わる
-25dBm	6	6	
-26dBm	6	6	
-27dBm	6	6	
-29dBm	6	6	
..	..	..	電波強度が良いため、この値を操作することで多段中継の経路が大きく変わる
-60dBm	500	100	
-61dBm	600	125	
-62dBm	600	150	
-63dBm	700	200	
-64dBm	700	250	電波強度が良いため、この値を操作することで多段中継の経路が大きく変わる
..	..	..	
-96dBm	1000000	1000000	
-97dBm	1000000	1000000	
-98dBm	1000000	1000000	
-99dBm	1000000	1000000	

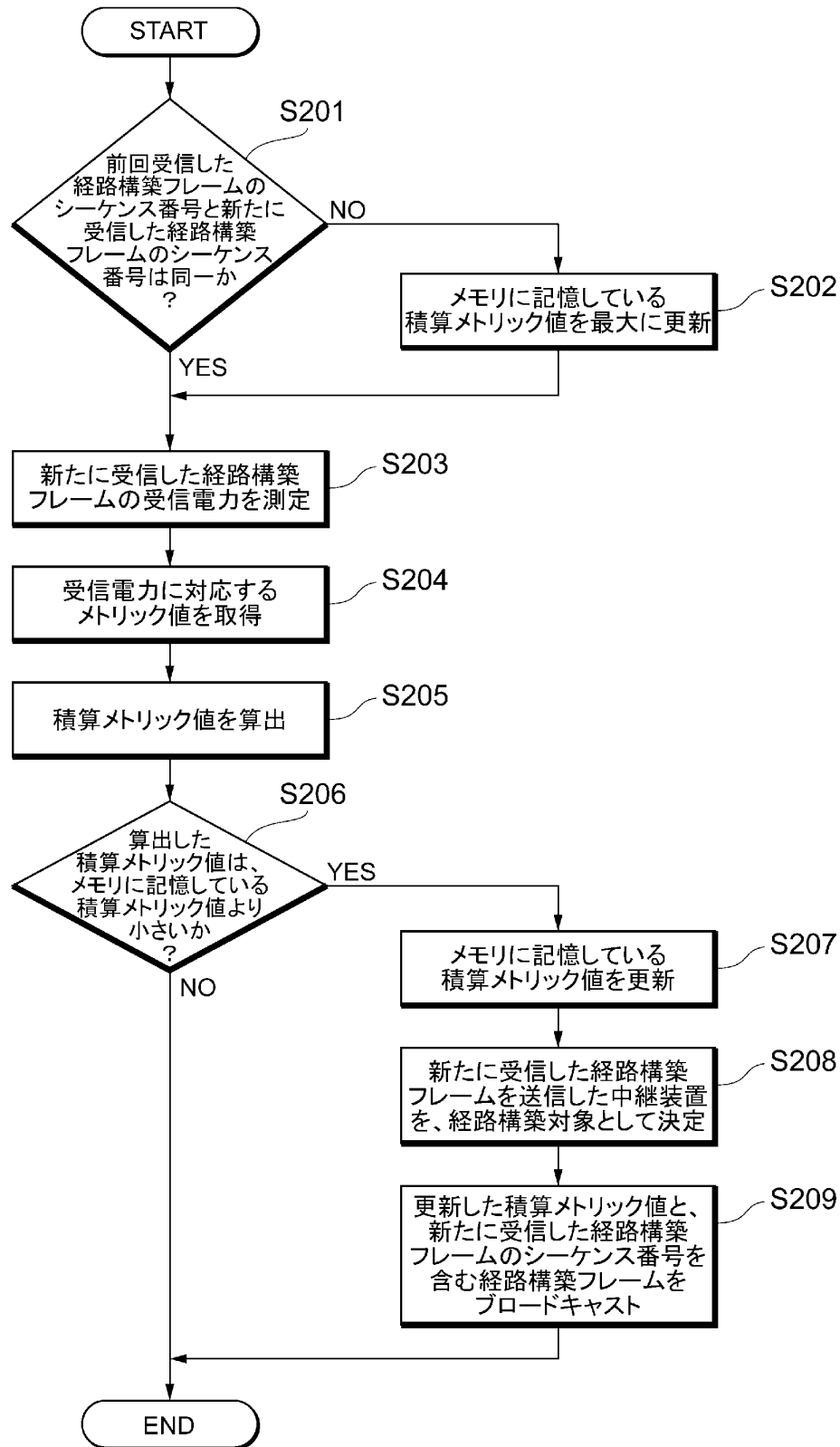
【図6】



[図7]



[図8]



[図9]

